



もり はるし 議員  
森 治史

## 町道整備

# 高齢者の日常に安全を

## 森間線の舗装 今年度中に

**問** 以前、田野浦部落の住民要望として拡張工事と舗装工事の質問をし、対応策として「町道森間線については、補修は出来るが拡張は出来ない」と答弁があった。

坂の下西間線は穴の補修だけはしているが、既に次の穴が開いている。

生活の基盤道路であり、高齢の方は、ゴミ捨て等を手押し車で通っており、穴に入って怪我をすれば行政の責任が問われないか。日常生活の安全面からも飯積線のように全面舗装すべきだと思つた。

町内全体に対する予算額が少ない状況で、一つでも多くの路線を整備するために一般財源からの持ち出しをする等、現状予算への上乗せの考えはないか。

**答** 金子まちづくり課長  
平成28年12月議会で質問を受け、地元と協議をして29年度に大方地域5路線を実施した中で、飯積線は道路下の暗渠、横

断排水路も同時に工事が必要なため優先的に実施した。  
森間線は今年度舗装工事の実施予定箇所なので、道路維持及び地域整備事業で今年度中に完了させる。



町道森間線の現状

坂の下西間線は今年度の地域要望で出されているが、地域要望の順位、路面状況を見ながら対応する。予算の上乗せについては現在のところ考えていない。

## 健康診断

**受診票再配布  
経費の無駄**

**二度とない  
よう努める**

また、委託業者のオペレーターから、健康について何か心配な点などないかと聞かれたが、個人の健診内容は一切漏らしていないか。

**問** 入野在住の方より町の胸部レントゲンを6月12日に受診したが、同月27日に再度受診票が送られてきたので、役場に電話をかけ担当者に済ませたことを伝えた。手違いで二度送ったとの説明と断りをもらったが、心からとは感じられなかったと聞いた。これは二重経費で住民は無駄遣いだと言っている。

郵送料など少額でも住民の大事なお金という認識を持つているのか。  
特定健診の問診が届いているかと私にも確認の電話が業務委託先（JMC社）からあったが、担当課は毎年の受診者については把握しているはず。最初から全世帯対象の受診確認の委託は必要ないのではないか。

**答** 川村健康福祉課長  
早咲地区の受診された方（61世帯79人）に再送付した。原因は、受診者を除くシステムへの登録作業手順での人為的ミスだった。

迷惑をかけた住民への断りの対応が一番重要と考えている。郵便代等諸経費は少額とは思っていない。  
今後は、作業チェック体制の充実を図ることの確認が必要であり、こういうことが二度と起こらないように努める。  
健診の個人情報相手先には渡していない。  
【その他の質問】  
・町有財産登記について  
・教育について  
・旧包括支援センター跡地について